第 2 回 軽井沢町新施設（庁舎及び交流センター）建設工事
総合評価審査委員会　議事【概略等】

●開催日時：令和 8 年 10 月 14 日(水)　14:00-17:00
●場所：軽井沢町役場　2 階　第 3・第 4 会議室
●参加者：池田委員長、小林(精)委員、上野委員、小林(信)委員、内堀委員
（事務局）新庁舎周辺整備課　土赤課長、佐藤室長、佐藤主任、菊地
●概略
➢前回会議で共有した、軽井沢町新施設（庁舎及び交流センター）建設工事に係る総合評価方式の基本的な考え方を踏まえ、総合評価点の考え方と評価項目の具体化に向けた議論を行った。

➢落札者決定における総合評定点の算出方式を価格点と技術点を合算する「加算方式」で進めることとした。県内外の多くの自治体が採用していること、分かり易いこと、配点を適切に調整することで価格競争と技術力競争のバランスを設定できる点などが理由。

➢価格点と技術点の配分比を決定した。価格点は過度なダンピングを有利にしない計算方法で進める。

➢ 技術点は「企業実績・配置技術者評価」「施工計画評価」「地域貢献」の 3 分野で構成する方向として、各分野内の項目毎の配点は引き続き詳細検討。

➢施工計画評価については、評価方法や評価の視点を整理することが求められた。

➢地域貢献の項目については、町内下請け、資材調達の算定方法、JV 組成などの評価を引き続き検討することが求められた。

➢開札後のヒアリング方法、不落・再公告・入札、不落随契の取り扱い、利益相反時の委員対応などは、事務局が整理して次回会議に提示する。